

評価問題例

CLICK

評価問題シート
はこちら

単元の流れへ

初見の文章を読んで

- 問1 気持ちが表れている主人公の動作に傍線を引きなさい。
- 問2 問1で指摘した動作から主人公の気持ちを推察し、書き込みなさい。
- 問3 主人公の気持ちが大きく変化するところで線を引きなさい。また、気持ちが変化するきっかけになっている出来事や物を□で囲みなさい。
- 問4 問3までを考えた、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人グループは、それぞれに自分の意見を発表しました。本文の内容と食い違うのは四人のうちのどれか、答えなさい。
- Aさん 最初、たかしは時計ばかり見たり、先生の声が耳に入らなかったり、そわそわしていたけど、夕日を見て感動しています。
- Bさん Aさんの意見に付け加えます。夕日を見るまでも主人公の気持ちは変化していると思います。家に帰るとき走ったり、かばんを置くとすぐ自転車に乗ったりして、うれしくてたまらない感じが伝わってきます。また、海に向かうときもこいでいることも忘れてたり歌を歌ったり、楽しくて夢中になっていると感じました。
- Cさん 夕日が沈んでからは、焦って不安になっています。でも、変速機をいじったときだけはちょっとうれしかったんじゃないかと思います。
- Dさん 夕食のにおいに気づいたところでは、はじめてという修飾の言葉によって、それまでは緊張していたけれどここでちょっとほっとしたことがわかります。でもそのにおいがきっかけでお母さんの心配を思い出し、ごめんなさいという気持ちで奥歯をぎゅっとかみしめたのだと思います。

* 四人の発表の仕方の良い点をあげました。四人全員に全く当てはまらないものをひとつ、答えなさい。

- ア 根拠を挙げながら述べている。
- イ 説明したあと、意見を簡潔にまとめて繰り返している。
- ウ 聴き手に対して丁寧な言葉づかいで話している。
- エ 賛否など自分の立場を明らかにしてから述べている。

評価問題のポイント

授業で習得した基礎的・基本的な知識を活用できるように、初見の文章を用意する。

問1～問3

登場人物の心情を、その動作から類推する過程を分解し、段階的に出題した。

問4

内容理解を、正しい意見文を選択する形で問う問題である。全国学力・学習状況調査や府の学力診断テストでも出題されている形式である。本文を理解し、意見文を理解し、さらに正誤を判断するという過程を通して、思考力・判断力を育てる。また、さらに意見の述べ方について評価する設問を用意した。よりよい意見を述べるためには、意見を述べる際に注意すべき点を理解していることが不可欠である。